

# ぬかただより



岡崎市立額田図書館

夏号 No. 63

2022年6月発行



額田の民話には、人の心を読む鬼の話や20メートルもある大蛇の話、山道で会った男がおそろしい天狗に变身する話などが伝わります。みなさんは、もののけのような正体不明の存在を信じますか？

今号は、額田の民話と不可思議な妖怪についてお伝えします。

## 額田の民話「おくりオオカミ」

## 額田の民話に登場する妖怪たち

むかし、本宿に源助と呼ばれる<sup>ばくろつ</sup>馬喰がいて、馬の売り買いをしたり、荷物を運んだりすることを仕事にしていた。ある日のこと、源助は、<sup>かしやま</sup>檜山を<sup>うくて</sup>通って作手村まで馬を買いに出かけた。その日はほかにもいろいろと用があって、つい帰りがおそくなってしまい、<sup>たはらざか</sup>田原坂を下りるころには、もう日はすっかりくれて、あたりは暗くなってしまった。



『ぬかたの民話2』p.67より

— 中略 —

その時、ガサガサッと後ろでささの葉のすれる音がした。ぎょっとして源助は、あばれようとする馬のくつわをおさえながら、ふり返ろうとしたら、こんどは前の方をザザーッと走る音がする。と、また、横の方だ。「とうとう出やがったな。しょうがねえや。あわてて転んだりしたら山犬に食われちゃうがおちじゃ。まあ、腹をすえて一服とするか。」

— 中略 —

馬喰の人は、しばしばこうした山犬たちにつきまとわれたので、かれらのことを、おくりオオカミと呼んでいたという。

※「おくりオオカミ」は『ぬかたの民話2』AN388/又/2 に収録されています。



大蛇『ぬかたの民話2』p.71より



天狗『ぬかたの民話1』p.23より

## 妖怪：「おくりオオカミ」の特徴いろいろ

- ★夜の山道を歩いているとついてくる狼で、送ってもらおうと狐や狸が近寄らないが、転倒すると食い殺される。
- ★後ろを振り返ったり声を上げたりすると、頭上を飛び越える際に尿をかけていく。  
かけられた者は2、3年の間に必ず食い殺されるといわれる。
- ★狼に飛び越されないように男ならキセル、女ならかんざしなどを頭の上にたてて歩かなければならない。
- ★狼に送られて無事帰れたらお礼を述べるか、履物や持ち物を投げ与える。その際も振り返ってはならない。



## この言葉、実は妖怪の名前！



### 🐾「送り狼」🐾

女性に親切らしくふるまいながら、送っていく途中で害を加えようとする男。

語源：(山中を行く)人のあとからついてきて、すきを見て襲いかかろうとするオオカミの意から。

(「三省堂現代新国語辞典(第2版)」2004.1 出版より) ※現代では送り狼にあたる行為は犯罪になります※



### ▲「やまびこ」▲ (山彦、幽谷響)

「ヤッホー！」山で叫ぶとそっくりりにマネしてくる妖怪。昔の人たちは自分が出した声再び聞こえるのは、山の精または山に棲む妖怪が声や音をまねしているのだと考え「やまびこ」と呼んだ。

ヤッホー！



## ❖ 図書館からのお知らせ ❖

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、おはなし会、ブックスタートは中止や変更をしております。

最新情報は、図書館ホームページ、館内掲示等でご確認ください。



## 夏号のおすすめ本



### ちいさいこむけ

『かえるがなくからかーえろ』

松谷みよ子/文 偕成社 E/カ



ゆうやけ こやけ。かえるのかあさん ないている。おたまじゃくしの ちびっこたちが あそびにいて かえてこない。はやく かえらないと 子とろに つれていられるよ…。1ひき、2ひきと かそえながら ちびっこたちを さがそう。子とろがでてくるページは ちょっこわいよ。にげろー！っておもわずさけんじゃう。

わらべうたが たくさんでてくるよ。うたってみてね。

### 小学生向け

『ひそひそ森の妖怪』

富安陽子/作 理論社 913/ト



つくも ようかい 九十九さんちは妖怪一家。又ラリヒョンパパは市役所の地いきょうせいかに 域共生課で、人間と妖怪が仲良く暮らすための仕事をしています。ある日、ひそひそ森に住む妖怪の調査をすることになり、家族やご近所の妖怪にも手伝ってもらうことにします。1番上のお兄ちゃんて一つ目小僧のハジメくんが、調査のために探している妖怪を見つけるのですが…。

シリーズ『妖怪一家の九十九さん』は全部で10冊あります。他のお話も読んでみてね。

### YA向け

『13歳からの平和教室』

浅井基文/著 かがわ出版

YA/319/シ



おじいちゃんが、孫のはるきくんとその友だちのミクちゃんの質問に答える会話形式で、みんなで平和について考えます。戦争、平和、人間の尊厳とは？

一見難しいテーマですが、はるきくんたちと一緒に考えることで、平和について考える力が自然に身に付きます。

この本を読んで、平和への一歩を踏み出しましょう。

### 大人向け

『世界から戦争がなくなる』

本当の理由』

池上彰/著 祥伝社 319.8/セ



日本にも70数年前に終わった戦争がありました。なぜ戦争が起きたのか、やめることはできなかったのかを反省し、未来に活かすことが大切です。そのためには戦後の教訓を学ぶことです。戦後の日本と世界の歴史を振り返ることで、現在起こっている問題について考えるキッカケになる1冊です。

妖怪が登場する作品といえば、『ゲゲゲの鬼太郎』。作者である水木しげるさんは今年生誕100周年です。今でも多くのかたに親しまれています。夏休みに親子で読んでみてはいかがでしょうか。ご来館をお待ちしています。



岡崎市立額田図書館

榎山町字山ノ神 21 番地 1 TEL82-2953

【開館時間】9:00~19:00 【休館日】月曜日 ※祝日の場合は開館、翌日以降の平日に休館。